

令和3年度地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (都道府県分) 個票

自治体名 高知県 (都道府県: 高知県)
 本事業の担当部局名 子ども・福祉政策部少子対策課

事業メニュー	優良事例の横展開支援事業		
区分	結婚に対する取組		
関連事業メニュー	2.1.1 結婚支援の取組を行う結婚支援センター等の開設・運営、同センター等におけるマッチングシステムの構築等により、各地域における結婚支援の基盤を整備するための取組(ただし、施設整備に係る部分は除く。)		
個別事業名	結婚支援システム(マッチングシステム等)機能追加事業	新規/継続 (一般財源での実施も含む)	継続
実施期間	交付決定日 ~ 令和4年3月31日		
対象経費支出予定額 ※(注)1	4,094,000 円		
各区分における取組の全体像及びその中での本個別事業の位置付け ※(注)2	<p>「高知県まち・ひと・しごと創生総合戦略」においては、若い世代の「結婚」「妊娠・出産」「子育て」の希望をかなえる、女性の活躍の場を拡大することを基本目標の一つとし、「(ア)ライフステージの各段階に応じた取り組みのさらなる推進」、「(イ)官民協働による少子化対策を県民運動として展開」及び「(ウ)女性の活躍の場の拡大」で構成している。</p> <p>また、(ア)の具体的な施策として、</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 出合いの機会の創出 ② 安心して妊娠・出産できる環境づくり ③ 安心して子育てできる環境づくり ④ ワーク・ライフ・バランスの推進 <p>の取組を行うこととしており、本事業については、上記取組の①に位置づけられる。</p>		
(個別事業の内容) ※(注)3	<p><現状と課題></p> <p>本県では、出合いや結婚への支援を希望する独身者への出合いの機会の創出の取組をより簡便な方法で効果的に進めるため、平成26年7月から結婚支援システム「高知で恋しよ!!応援サイト」を開設し、出合い支援事業の紹介や出合いイベント等の参加申込や交際フォローを行っている。</p> <p>平成28年1月からは「こうち出合いサポートセンター」を開設し、4月から会員制お引合せシステム「高知で恋しよ!!マッチング」を本格稼働し、平成29年8月からはビッグデータ機能を導入している。</p> <p>※令和2年12月末実績 会員登録者数734人(男性463人、女性271人)、閲覧数12,627人、引合申込数9,708人、引合成立数1,823組、交際成立数774組、成婚報告数63組</p> <p>(課題)</p> <p>1 マッチング会員の増に向けた取組</p> <p>マッチング開始年度(平成28年度)は月40人程の新規登録者がいたが、現在は月17人程となっており、新規登録者数が少なくなってきた。また、令和2年12月末現在の会員登録者の年齢割合を見ると、20代は6.5%程度であり、若年者が少ない状況である。</p> <p>これらの原因のとしては、マッチングシステムの認知度が低い(令和2年県民意識調査結果では、マッチングシステムの認知度は27.9%となっており、未だ県民への周知が図られていない現状にある)ことや、特に若年層においては手軽に利用できる民間のマッチングアプリ等を活用する傾向があると推察される。(マッチングシステムでは、お相手の検索や閲覧、お相手への申込みの際にセンターへの来所が必要)また、結婚を希望していても出合いにつながる行動を起こしていない独身者が多いことが挙げられる。内閣府「平成30年少子化社会対策に関する意識調査」では、結婚を希望している者で「適当な相手にめぐり会わない」と回答した者のうち、具体的な相手を探すための行動を起こしていない者が61.4%と最多を占めている。</p> <p>そのため、マッチングシステムの認知度を上げ、県民に県の結婚支援事業の一つとしてマッチングシステムがあることを広く知っていただくとともに、結婚を希望していても行動を起こしていない独身者に対し、気軽にしてもらえるよう、登録へのハードルを下げるが必要である。</p> <p>2 マッチング会員への支援</p> <p>県が実施する結婚支援事業のマッチング率をみると、マッチングシステムは42.5%であり、出合いイベント(24.6%)、婚活サポーター(28.4%)と比較してもマッチング率は高い。しかしながら、閲覧を重ねてもお引合せに結びつかない会員もあり、登録期間満了後、登録を更新しない会員が73.4%という状況である。また、会員の中には、会員登録後に一度も申込みをしたことがない会員の割合が30.1%、一度も閲覧をしたことがない会員の割合が13.9%もいることから、これらの会員の活動の活性化を図りたいと考えている。</p> <p>また、令和2年10月より自宅(自身のパソコンやスマートフォン)でのマッチングの検索・閲覧機能(お相手情報の一部のみ)の運用を開始したが、令和3年度に向けたマッチングシステムの改善要望についてセンター来所者に聞き取りを行ったところ(R2.10.26~11.15 回答者数68人)、「会場予約、来所の手間が除ける」、「手軽に申し込みできるようになることでマッチング成立する可能性が高くなりそう」との理由で自宅での検索閲覧(お相手情報の全部)・お引き合わせの申込み機能を必要とした会員が86.7%(59人)であった。</p> <p>そのため、自宅でのマッチングの検索・閲覧・申込み機能等を導入し、マッチングシステムの利便性を向上を図り、会員登録者を増やすと共に、会員の活動の活性化を図り、お引合せ申込数、お引合せ成立数を増やす。</p>		

<課題への対応>

○システムの改修

1 自宅閲覧・申込機能

・会員がマイページ(自身のスマートフォン等で閲覧可能)で、お相手のプロフィール(年齢、趣味、自己PR等全ての情報)を閲覧でき、気に入ったお相手に申込みまでできる機能を追加する。お相手情報の閲覧や申込みの際にセンターへの来所の必要が無いため、会員にとって利便性が向上し、マッチングアプリなどに抵抗の少ない若年層の会員増につながる効果が期待できる。また、お申込みを自宅で好きな時にできることから、会員のお申込みの動きが活発になり、申込み件数の増やお引合せ成立数の増などにつながる事が期待できる。

2 申込時メッセージ送付機能

・会員がお相手に申込み際に、一言メッセージを添えることができる機能を追加する。申込時に一言アピール文を付けることで、プロフィール情報だけでは分からない申込者の人柄も知ることができるため、お引合せ成立数の増が期待できる。

3 お相手検索利便性向上機能

・お相手会員の詳細画面で、一覧に戻らずに次のお相手会員の詳細画面に移行することができる機能及び、一覧画面において一度詳細画面を見たお相手会員が把握できる機能を追加する。会員が、お相手検索の際にこれまで不便に感じていた仕様を改善することで、利便性の向上に繋げる。

4 イベント応募制限機能

・イベント対象年齢以外のユーザが参加申込みを行うことができなくなる機能及び、イベント毎に対象年齢のユーザに限定してメルマガ(イベント案内)が配信される機能を追加する。イベント主催者側では、参加対象者以外の申込みを排除でき、イベントユーザ側では、自身が対象とならないイベントの案内等を確認する手間を省くことができる。システムを活用する両者がこれまで不便に感じていた仕様を改善することで、利便性の向上に繋げる。

※上記に加え、下記により広報を併せて実施することでシステムの認知度向上を図る。

・婚活サポーターや婚活サブサポーターにより、地域の独身者等にシステムの情報提供及び登録への声かけを実施する(R3当初個票②-3)。

・こうち出会いサポートセンターに配置する訪問相談員(R2補正個票①-2-①)が、応援団企業等への個別訪問時に併せてシステムの説明及び登録への声かけを行う(従業員への声かけが押し付けにならないよう周知方法の説明も併せて実施)。

・市町村広報誌や新聞・月刊タウン誌等によるシステム(上記システム改修の内容等)の広報を実施し、効果的に周知を図る(R3当初個票②-2)。

・令和元年4月から実施しているブログによる情報発信(週1回マッチングシステム出張登録会や会員限定イベント等県事業の情報発信)に加え、InstagramやYOUTUBE等のSNSを活用し、情報発信を強化する。

【事業費】4,094千円(4,093,100円)

委託料:4,093,100円(別紙資料1のとおり)

・自宅閲覧・申込機能 : 2,450,000円

・申込時メッセージ送付機能 : 348,500円

・お相手検索利便性向上機能: 574,000円

・イベント応募制限機能 : 348,500円

((小計)3,721,000円×1.1=4,093,100円)

【次年度以降に向けた事業の方向性】

令和3年度以降も継続して、システムの利便性向上、認知度向上の対策を講じて運用強化を進め、マッチング会員数とお引合せ数の増を図る。

【事業内容を検討する上で参考とした既存事業】

愛媛県「えひめ結婚支援強化事業」

【事業実施にあたっての留意点】

本事業の実施にあたっては、実施要領記載の留意事項を踏まえて実施することとする。

	KPI項目	単位	目標値	現状値
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※(注)4	マッチングシステム会員登録数(R3年度末現在)	人	850	R2.12:752人
	マッチングシステム登録数(R3年度新規登録者)	人	360	30人×12ヶ月
	マッチングシステム自宅閲覧数(R3年度)	回	12,000	1,000回×12ヶ月
	マッチングシステムお引合わせ成立数(R3年度)	組	480	40組×12ヶ月
	登録会員数に対するお引合わせ成立数の割合(R3年度)	%	50	
	「高知で恋しよ!!マッチング」アクセス数	件	7,100	
・他自治体との連携・役割分担の考え方や具体的な方法 ※(注)5	本事業は、県主導で事業を展開するが、市町村においては、本事業の周知及び広報PRIに協力いただく。また、地域の独身者に対して、マッチングシステム以外の県の出会い支援事業(出会いイベント・婚活サポーター制度)の周知及び広報PRIにも協力いただく。			
・民間事業者との連携・役割分担の考え方や具体的な方法※(注)6	本事業には、県主導で事業を展開するが、民間事業者においては、高知家の出会い・結婚・子育て応援団として登録し、本事業の周知及び広報PRIに協力いただく。また、地域の独身者に対して、マッチングシステム以外の県の出会い支援事業(出会いイベント・婚活サポーター制度)の周知及び広報PRIにも協力いただく。			
・男女共同参画部局など関係部局等との連携・配慮事項 ※(注)7	<p>※優良事例の横展開支援事業又は重点課題事業を実施する場合、記載してください。</p> <p>(関係部局等) 文化生活スポーツ部 県民生活・男女共同参画課</p> <p>(配慮すること) 独身者に対して、特定の価値観を押し付けたり、プレッシャーを与えるようなものになっていないか、また、多様性に関する配慮されているかについて、関係部局等と定期的に情報共有を行い、適時適切な方法で事業を進める。</p>			
・委託契約の有無及び契約方式 ※(注)8	<p>※優良事例の横展開支援事業又は重点課題事業を実施する場合、記載してください。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 有(以下の①～③から該当するものを選択してください) <input type="checkbox"/> 無</p> <p><input type="checkbox"/> ①企画提案方式(プロポーザル方式、コンペ方式) <input type="checkbox"/> ②競争入札方式</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ③随意契約 (事業の内容) 結婚支援システム(マッチングシステム等)機能追加事業</p> <p>(随契の理由) 平成26年度より運営している本県の結婚支援システム「高知で恋しよ!!応援サイト」は、株式会社愛媛電算が著作権を有する「結婚支援システム」をカスタマイズして導入したものである。 今回の機能追加は、「結婚支援システム」を修正する必要があるが、上記のとおり著作権を同社が有しており、同社以外では修正できず、同社に委託することがシステムの機能・コストの両面において最適であると判断されるため。</p>			
・システム等導入に係る管財部局の確認 ※(注)9	<p>※優良事例の横展開支援事業又は重点課題事業を実施する場合、記載してください。</p> <p>該当する取組の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無</p> <p>取組名: _____</p> <p>有の場合の担当部局: _____</p>			

(注)

1「対象経費支出予定額」には、本交付金の対象外経費を除いた対象経費支出予定額(補助率を乗じる前の額)を記入すること。また、金額の根拠となる資料(見積書等)を添付すること。

2「各区分における取組の全体像及びその中で本個別事業の位置付け」には、区分①(結婚に対する取組、②結婚、妊娠・出産、乳児期を中心とする子育てに温かい社会づくり・機運の醸成の取組、③重点課題事業、④結婚新生活支援事業)ごとに、既存事業や他省庁補助金等事業なども含め、全体としてどのような取組を行うか、その中で、本個別事業がどのような位置付けにあるのか、どのように他事業との取組と連携しているのかを記載すること。

3「個別事業の内容」には、個別事業の具体的な内容を記載すること。また、事業内容を検討する上で参考とした既存事業があれば、都道府県名又は市町村名、事業名を記載すること。

※個別事業を次年度以降も自立的に発展させるため、事業内容の末尾に必ず次年度以降に向けた事業の方向性を記載すること。

4「個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標」には、本個別事業の各区分における取組全体像における位置付けを踏まえ、どのような考え方のもとどのくらいの効果が見込めるのか、それを測るためにどのようなKPI及び定量的成果目標を決定したか、達成予定時期を含め記載すること。また、各自治体は、個別事業ごとに効果検証を実施すること。

※過去に関連する事業を実施している場合は、過去に設定したKPIを踏まえたKPIを設定すること。

※結婚支援センター事業を実施する場合は、参考として直近年度の「会員登録数」「引き合わせ成立者数」「カップル成立組数」「成婚数」を記載すること。

5「他自治体との連携・役割分担の考え方や具体的な方法」には、本個別事業を他の都道府県や市町村と連携のもと実施する場合、その考え方や具体的な方法を記載すること。

6「民間事業者との連携・役割分担の考え方や具体的な方法」には、本個別事業を民間事業者との連携のもと実施する場合、その考え方や具体的な方法を記入すること。

7「男女共同参画部局など関係部局等との連携・配慮事項」には、特定の価値観の押し付けとならないようする観点から、計画策定に当たり連携した関係部局等及び事業の実施に当たり連携する関係部局等並びに事業の実施に当たり配慮することを具体的に記載すること(優良事例の横展開支援事業又は重点課題事業を実施する場合)。

8「委託契約の有無及び契約方式」には、取組中の委託契約の有無及び有の場合には予定している契約方式を記載すること。また、競争性のない随意契約による契約を予定している場合は、事業の内容及び随意契約とする理由を記載すること(優良事例の横展開支援事業又は重点課題事業を実施する場合)。

9「システム等導入に係る管財部局の確認」には、マッチングシステム、アプリの構築等のシステムに関する取組の有無及び有の場合には、事業の内容及び確認を行った部局名を記載すること(優良事例の横展開支援事業又は重点課題事業を実施する場合)。